

立春を迎え暖かくなると思いきや、そうもならず、気合を入れ老体に鞭打って家を出発。途中、雲海の中を進み（今日は暖かくなるぞと期待）フィールドに到着しました。

今回の里山部会は、小川フィールドと妙國寺裏山のスクウスクウの森とに別れそれぞれ作業を行い、合わせて18名の参加がありました。

小川フィールドでは、50本の^{ほたぎ}榎木に椎茸を植菌し仮伏せまで行いました。また、昨年末TV取材の折に、アンガールズの山根さんから製材した

ヒノキにサインをいただいたのを明野さんが部会の看板に仕立て上げ、取付けを行いました。終了後、明野さんから、ネギのお土産をいただき14時に解散。

一方、スクウスクウの森での作業は、3年前に建てた^{あずまや}四阿の横に立っている直径50cmのアベマキがナラ枯れ病にかかり、いつ倒れてもおかしくない状態でしたので安全確保のため伐倒を行いました。アベマキを倒すにあたり、支障木（20～30cm）3本を佐藤さんの指導の下、高橋さんが担当し伐倒。続いて、メインのアベマキを富田さんが担当。メインのチルホールと裂け上がり防止用のチルホール2台を使い目標の場所に無事倒すことができました。

伐倒後は、昼食、昼休憩もほどほどに作業を再開。玉切りと枝葉の棚積みを行い、若干の玉切りが残ってしまいましたが、15時に作業を終了。反省会を行い、見勢井さんにコーヒーを入れていただき解散しました。

次回の里山部会は、3月12日スクウスクウの森で、ナラ枯れ病にかかっている木を伐倒する予定です。



シイタケを植菌



立派な看板ができました！



ナラ枯れにかかったあずまや横のアベマキ